

平成29年 5月15日発行
編集・発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人
南相馬市社会福祉協議会

〒975-0011

福島県南相馬市原町区小川町322-1

TEL 0244-24-3415

FAX 0244-24-1271

http://www.m-somashakyo.jp

shakyo@m-somashakyo.or.jp

オレンジハート

社協だより

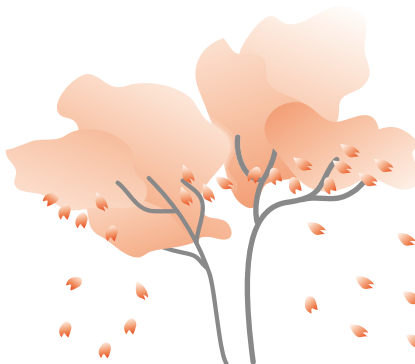


『ニコニコ元気塾』で
お花見をしました。
(小高区)

4月17日、小高神社でニコニコ元気塾の花見をしました。

このニコニコ元気塾は、高齢者の引きこもり防止や介護予防などを目的に毎週火曜日に小高区のあるデイサービスセンターで開催されています。

参加者の多くは、昨年7月の避難指示解除により、小高区の自宅へ帰還された方々です。東日本大震災により生活は一変しましたが、故郷の満開の桜は6年前と変わらず、住民の心の拠り所となりました。



新シリーズ

おじいちゃんとおばあちゃん

デイサービス 生活相談員編



(5月15日号)

社会福祉協議会(通称:社協)は、昭和26年に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づき、設置された民間組織です。「福祉のまちづくり」の実現を目指し、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティア支援、共同募金運動への協力などに取り組んでいます。

南相馬市社協では、146人の職員(4月20日現在)が地域福祉事業や介護保険事業、児童館や被災者支援事業など各担当部署で仕事をしています。

市民の皆さまから寄せられる「社協って、何をやっているの?」の疑問に少しでも答えられるよう、職員に一日密着して社協のご紹介していきます。

今回は、鹿島区にある「ひまわりデイサービスセンター」(※1)に勤務する、藤原隆司さん(生活相談員)の一日に密着取材しました。

8時 出勤

4月某日(快晴)
ユニフォームに着替え、ラジカステラで体をほぐし、今日も一日の始まりです。



(段差に気をつけて)

8時20分 スタッフミーティング

この日の利用予定者は30人。健康状態や注意事項をスタッフ全員で共有し、申し送りをします。ひまわりデイサービスのスタッフは総勢11人。藤原さん以外は全員女性。「紅一点」ならぬ「黒一点」(笑)

8時30分 送迎

6人の利用者をワゴン車で迎えに行きます。車の乗り降りに細心の注意を払い、慎重に安全運転をします。藤原さんは運転中「曲がりま〜す」「バックしま〜す」「工事中のデコボコ道の手前で「少しガタガタしますね〜」と、常に声かけをします。乗っている利用者の皆様も安心ですね。

9時20分 デイサービスに到着

管理者と看護師にご家族からの伝言やその日の体調、車内での様子を報告します。

9時30分 入浴介助

休む間もなく、Tシャツ・ハーフパンツに着替え入浴介助に入ります。およそ2時間の入浴介助を終えると、汗がびっしょり。

11時30分 昼食準備・昼食

昼食の前には、口腔体操を行ない誤嚥(※2)を防ぎます。デイサービスの食事は、栄養士により栄養管理されたバランスの良い食事が提供されます。

食事の後は、利用者はそれぞれ好きなことをして過ごします。横になって昼寝をする方、テレビを見る方、友人やスタッフとおしゃべりを楽しむ方。藤原さんや他のスタッフは、その間に食事の後片付けや浴槽の清掃、午後のレクリエーションの準備をします。

12時30分 休憩

スタッフは交代で休憩時間をとり、昼食の時間となります。藤原さんの今日の昼食は奥さまの愛妻弁当でした♥

14時10分 体操・お茶休憩

皆で体操をします。体操した後はお茶で水分補給。季節や好みに応じて、抹茶やコーヒ、スポーツドリンクになることもあるそうです。



(おいしくできたかな)

14時40分 レクリエーション

この日は、毎月恒例のお誕生日会。一緒に「ポテトもち」を作りました。

15時 サービス担当者会議

利用者Aさんのサービス担当者会議に出席。生活相談員としての大事な仕事のひとつです。

15時30分 おやつ・歩行練習

なんと!デイサービスには「おやつタイム」があるのです。「おやつタイム」があるのです。季節感のあるおやつが毎回提供されます。

16時30分 お帰り

利用者を自宅まで送り届けます。ご家族に、今日一日の様子を伝え、次回利用の確認をします。いくら楽しいデイサービスでも、やっぱり家がイチバンなのかなあ。

17時 事務処理

藤原さんの仕事はまだ続きます。記録の入力や次の日の準備をします。月末や月始めには、請求の事務が追



(サービス担当者会議のようす)

インタビュ

加されます。その他、月に一度のケア会議や、行事の前には職員会議なども行われます。

17時30分 帰宅

長い一日の仕事を終え、愛する家族の待つ、我が家へ帰宅です。おつかれさまでした。

藤原さんにお話を伺いました。
●仕事をやる上で、気を付けていることはありますか?
藤原「利用者様は人生の先輩でいらつしやることを忘れず、相手の立場に立ち、コミュニケーションを図り、笑顔で思いやりのあるケアを心掛けています。」

●これから介護職を目指す学生や若者にメッセージをお願いします。
藤原「まずは現場(デイサービス)を見学に来てください!大歓迎します。『たのしさ・おもしろさ』を自然に共有でき、それがやりがいに繋がります。」

※1 デイサービス:通所介護とは、入浴・食事の際の支援、レクリエーションや機能訓練その他日常生活の世話を中心に行うサービスです。

※2 誤嚥:誤って気道内に食物が流入してしまうこと。

※3 サービス担当者会議:ケアプランを作成したケアマネジャーが、利用者に関わるサービス機関の担当者を集め、ケアプランの内容を検討する会議。

平成29年度

南相馬市社会福祉協議会会員の募集について

本会は、「地域のだけれどもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、多くの市民の皆さまや関係機関・団体などの参加をいただきながら地域福祉事業を実施しています。

少子高齢社会が進む本市においても、地域コミュニティの希薄化や介護保険をはじめ諸制度の改正などによる生活環境の変化に伴い「様々な生活のしづらさ」を抱える人々が増加しており、今後、本会や行政が地域の皆さまとともに取り組むべき課題が山積しています。

これらの事業は、寄附金、共同募金配分金や市民の皆さまか

らいただく社協会費により支えられて実施しています。

つきましては、事業推進のため、社協会員にご賛同いただきたく、特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○会費の種類

- ・一般会員 500円
- ・世帯・個人 500円
- ・特別会員 一口 1,000円
- ・篤志者 一口 1,000円
- ・賛助会員 企業、団体、グループ 一口 10,000円

○問合せ先

- ☎(0244)445970 (小高区)
- ☎(0244)4615354 (鹿島区)
- ☎(0244)2413415 (原町区)

日本赤十字社へのご協力をよろしくお願いします

日本赤十字社では、東日本大震災復興支援事業をはじめ、災害救護活動や献血事業、奉仕活動の推進、救急法などの講習を行っております。

これらの事業推進のため、社員加入推進運動を実施するために、皆さまからのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○正社員：年500円以上

2,000円未満

○特別社員：年2,000円以上

ご協力の金額が20,000円に達したときに特別社員称号贈与通知書、特別社員章、陶器製門標が贈られます。

※平成12年度までに特別社員として毎年1,000円以上の社費をご協力いただいている社員の方には、経過措置として旧規程に基づき10,000円に達した時、旧金色特別社員(毎年3,000円以上)の方については、旧規程により30,000円に達したときに顕彰されます。

南相馬市社会福祉協議会 新副会長就任のお知らせ

3月22日の理事会において、理事の互選により新しい副会長が選任されましたのでお知らせします。



西 祥 一 副会長

西 祥 一 副会長
(社会福祉事業関係者)

南相馬市社会福祉協議会 第三者委員の紹介

- ・唯野 真 己
 - ・西山 喜代子
 - ・風越 清 孝
- (任期：平成31年3月31日まで)

※第三者委員とは 苦情解決における客観性と社会性を確保するとともに、苦情申し出人に対する適切な支援を行うために設置される。

南相馬市ボランティアセンター ・ 福祉総合相談センターを開設

平成29年4月1日から、ボランティアの活動推進の拠点として、「南相馬市ボランティアセンター」と福祉相談の窓口として、「総合相談センター」をそれぞれ開設しました。

○各センターの主な働き

- ・ボランティアセンター(ボラセン)
 - ・ボランティアをしたい方と、してほしい方をつなげる
 - ・ボランティア活動に関する情報提供・発信
 - ・ボランティアに関する相談窓口

福祉総合相談センター

日常生活の心配ごとや悩みごとなどの相談をお受けします。

その問題を、相談された方と一緒に、関係機関などと協力しながら、問題の解決に取り組む窓口です。

○問合せ先

地域福祉課(原町区)
☎(0244)2413415



しあわせ 金婚夫婦 表彰



の申込み
について

福島県老人クラブ連合会及び
福島民報社で実施している「し
あわせ金婚夫婦表彰」の申込み
を受付けます。

◆対象者

昭和42年に結婚し、金婚50
年を迎えた夫婦。

前回までに手続きをしなかつ
た金婚夫婦も受付します。
(自己申告です)

◆受付期間

平成29年7月12日(水)まで

◆申込方法

ご夫婦の名前・年齢・住所・
電話番号・結婚年月日等を所定
用紙にご記入の上、お申込みく
ださい。

所定用紙は、各区福祉サービ
スセンターにあります。

◆申込み・問合せ先

地域福祉課

☎(0244) 44-5970 (小高区)

☎(0244) 46-5354 (鹿島区)

☎(0244) 24-3415 (原町区)

南相馬市子育て応援
基金助成事業

『なかよし親子
うんどう会』

のお知らせ



市内在住の未就学児親子を対
象としたうんどう会を開催しま
す。

お子さんやお孫さんと一緒に
体を動かして、楽しい時間を過
ごしませんか。

ご近所、ママ友、お誘い合わ
せの上、ぜひ、ご参加ください。

◆日時

平成29年6月14日(水)

午前10時～午前11時30分まで

◆会場

鹿島保健センター

◆対象

市内在住の未就学児親子
(おじいさん・おばあさんも
大歓迎)

◆参加費

1人 100円

◆締切

平成29年5月31日(水)まで

◆申込み・問合せ先

地域福祉課(鹿島区)

☎(0244) 46-5354

サマーショート

ボランティアスクール 参加者募集!

学校の夏休み期間を利用した「サマーショ
ートボランティアスクール」を開催します。

有意義な夏休みを過ごすために、参加してみ
ませんか?

- 参加対象 市内の高校・中学校に在学する生徒
※市外の学校に通う生徒が、参加
希望する場合もご相談ください。
- 期 間 平成29年7月22日(土)～8月20日(日)
までの期間で、1施設3日間の活動
- 活 動 先 市内の福祉施設など
- 参 加 費 無 料
- 申 込 先 在学する学校の担当教諭
【平成29年6月16日(金)】まで
- 問合せ先 地域福祉課
☎(0244)24-3415 (原町区)
佐々木まで

「失語症友の会(仮)」 の開催

失語症で生活のしづらさを抱えている
方々の相互の交流を目的に交流会を開催し
ます。今年度4回の開催を計画しています。

失語症の方々やそのご家族の方たちと交
流できる茶話会やリハビリ教室などのプロ
グラムを準備しています。

・日時・会場

平成29年6月25日(日)
10時～12時
原町区福祉会館

・参加費

1人100円(当日納入)

・締切

平成29年6月16日(金)

・申込み・問合せ

地域福祉課(原町区)

☎(0244) 24-3415
あおた
青田まで

ハートフルサポート 出張相談会を始めました♪

「どこに相談したらいいのか分からない」
あなたの悩み事、困りごとが解決できるようにお手伝いします。
予約は不要です。お気軽にご相談ください。

場所	日	時
南相馬市役所 東庁舎	第2、第4木曜日	9:30～11:30
ひばり生涯学習センター	第1火曜日	9:30～11:30
大甕生涯学習センター	第1木曜日	13:30～15:30
石神生涯学習センター	第2月曜日	9:30～11:30
高平生涯学習センター	第2水曜日	9:30～11:30
太田生涯学習センター	第4火曜日	9:30～11:30

(問合せ先：地域福祉課 福祉総合相談センター ☎(0244) 24-3415)

手話入門教室のお知らせ

「やさしい、楽しい手話教室」
を開催します。

この教室は初めての方でも簡単に手話の基本を楽しく学べる講座です。ご参加お待ちしております。

・日程
平成29年6月17日
～8月5日(計8回)
毎週土曜日
午後1時半～3時まで

・会場 原町区福祉会館
・参加費 無料
・締切 平成29年6月16日(金)まで

・申込み・問合せ先
地域福祉課(原町区)
☎(0244) 24-3415
青田^{あおた}まで

ボランティア活動中

南相馬市職員退職者ボランティア友の会

ボランティア友の会は、平成11年当時原町市社会福祉協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者配食サービス事業」の調理・配達への協力を主たる目的として、原町市職員を退職した方々を中心に発足しました。

配達の弁当は心のこもった給食で「とてもおいしい」と喜ばれ好評でした。現在、配食サー

り活動などに取り組んでいます。これからも、会員のみなさんは、思いやりの心で地域福祉の推進を通じ「人のために働くの」ではなく、困っている人の世話をすることで自分の人生を良くする」ことを活動目標に地域貢献をしていきます。

○会長 青田^{あおた} 妙子^{たみこ}
○会員数 40人
○平成11年3月20日設立

こんにちは！生活支援相談室です

「つどい」のお知らせ

民間借上げ入居者等を対象

日時
平成29年5月24日(水)
平成29年6月14日(水)
午後1時30分～午後3時30分

会場 原町区福祉会館
申込み・問合せ先
原町事務所
☎(0244) 26-5107

※小高区に帰還された方を対象

① 地区・日時
平成29年6月14日(水)

② 中部地区

平成29年6月21日(水)

③ 西部地区

平成29年6月28日(水)
各地区、午前10時～正午

会場 小高保健福祉センター
申込み・問合せ先
小高事務所
☎(0244) 32-0156

福島市等に避難されている方を対象

日時
平成29年5月24日(水)
平成29年6月21日(水)
午前9時30分～午前11時30分

会場

福島市保健福祉センター5F
大会議室

申込み・問合せ先
福島市社会福祉協議会
総務課生活復興支援室
一本松市等に避難されている方を対象

日時

平成29年5月24日(水)
春のバス旅行
白河フラワーパーク

申込み・問合せ先
二本松市社会福祉協議会
災害ボランティアセンター
☎(0244) 23-8262

「まいごころ」ひろば

《平成29年4月1日〜平成29年4月30日》

○小高区

【遺志金】 (行政区)

・三上 忠重様 (遺志として)

・佐藤 禎晃様 (五区) (遺志として)

・今村 秀身様 (北鳩原) (遺志として)

・阿部 榮治様 (大富) (遺志として)

・三澤 久子様 (岡田) (遺志として)

・白岩 守様 (吉名) (遺志として)

・門馬 秀文様 (一区) (遺志として)

・橋 正之様 (三区) (遺志として)

・大谷 伊代様 (小屋木) (遺志として)

・志賀 雅弘様 (岡田) (遺志として)

・志賀 永一様 (浦尻) (遺志として)

【一般寄付】

・匿名 (東京都) 南相馬市の支援のために

・広島市東区社会福祉協議会様 (広島県) もみじまんじゅうを南相馬市支援として

・A.I.E. WORKS 赤崎 真理子様 (大阪府) 熱中症対策バンドナを復興支援として

○鹿島区

【遺志金】 (行政区)

・伏見 忠清様 (南柚木) (遺志として)

・佐藤 英子様 (南屋形) (遺志として)

・今野 キヨ様 (北右田) (遺志として)

・佐藤 祐一様 (鳥崎) (遺志として)

・大谷 京子様 (新町) (遺志として)

【一般寄付】

・佐藤 利宗様 (川子) タオル等を社会福祉のために

・高橋 悦子様 (上栲蓮) 社会福祉のために

・匿名 社会福祉のために

・酒井 重信様 (江垂) 紙オムツ等を社会福祉のために

○原町区

【遺志金】 (行政区)

・青田 悦正様 (旭町一) (遺志として)

・島村 哲哉様 (深野) (遺志として)

・門馬 誠一様 (大麩下) (遺志として)

・阿部 直英様 (南町三) (遺志として)

・田中 文雄様 (牛来) (遺志として)

・佐藤 英則様 (牛来) (遺志として)

・松嶋 彰一様 (馬場) (遺志として)

・太田 盛様 (三島町二) (遺志として)

・小田 俊秀様 (東町一) (遺志として)

・野地 健一様 (北新田) (遺志として)

・折笠 正人様 (鶴谷) (遺志として)

・遠藤 孝様 (押釜) (遺志として)

・引地 幸恵様 (鹿島区) (遺志として)

・高玉 勝様 (陣ヶ崎一) (遺志として)

・小林 キミヨ様 (西町) マスコットを社会福祉のために

・島村 哲哉様 (深野) 車いす等を社会福祉のために

・遠藤 利子様 (三島町二) タオル等を社会福祉のために

・大内 八重子様 (東京都) 油絵を社会福祉のために

・匿名 ぎんなんをフードバンクへ

・東北歌謡芸術協会 会長 森繁夫様 (宮城県) 社会福祉のために

・匿名 「春の歌祭り」開催により

・MARUDA 311 様 (東京都) 震災復興支援ライブの益金を

・匿名 社会福祉のために

・山田 雅之様 (橋本町一) 基石・碁盤を地域交流事業へ

・青梅マラソン大会 様 (東京都) 社協復興支援金として

【物品】

・匿名 (石川県) 飲料水

・清水 大輔様 (千葉県) 刈払機の替刃をボラセン運営のために

【金圓】 (ボランティアセンター活動資金として)

・東吾妻町 ボランティア連絡協議会 様 (群馬県) 匿名

【お寄せいただいたご厚情は地域福祉活動に活用しています】

無料法律相談会

期日・会場

平成29年6月9日(金)

原町区福祉会館 相談室

午後1時30分〜

午後4時30分まで

予約・問合せ先

サポートセンター希望(鹿島区)

☎(0244)2618246

認知症相談会

期日・会場

平成29年6月12日(月)

原町区福祉会館 講座室

午後1時30分〜

午後3時30分まで

問合せ先

☎(0244)234519 荒まで

つづいて

〜編集後記〜

およそ15年ぶりに広報の編集に携わることになりました。まだ合併前の原町市協時代、新人だった当時は、大きなプレッシャーを抱えながら毎月締め切りに追われていたことを思い出します。

昔と変わったことと言えば「写真」。フィルムで撮った写真をプリントし、トレーシングペーパーを上から被せて「ここをトリミングしてください」なんて印刷屋さんにお願ひしていました。今はほとんどがデジタルカメラ。フィルム代を気にすることもありません。読者のみなさんのハートをオレンジ色に染められるような広報紙にしていきたいと思えます。

(S)